

Vote
for
Climate

気候危機回避のための 選挙アクションガイド

選挙

衆議院選、参議院選、知事選、市町村長選、自治体議員選
... あらゆる選挙はあなたの「こんなふうに生きたい！」

を実現するための制度です。

激しい台風や熱波など、日本でも猛威を奮う異常気象。暮らしを守るためには、気候変動を今以上の危険なレベルに突入させないことが必要です。

選挙は、こうした手に負えないような大きな問題をも、解決に向かわせる力を持つもの。わたしたちの選択で、気候危機を回避する道は開くことができます。

そのための《選挙の使い方》を一挙大公開！

#VoteForClimate #地球のための一票



都議会
選挙

ポスター掲示場

投票日

7月4日(日)
[投票時間]
午前7時～午後8時



1

候補者について調べる

その候補者は、当選して議員になったら気候変動に対してなにをしてくれるのでしょうか？ 調べてみましょう。

- ➡ ウェブサイトで、候補者の人となりやこれまでの取り組み、主張、政策をしてみる
- ➡ 選挙公約に気候のことが書かれていれば、どんな内容かみる



「ゼロエミッションを実現する会」などで実施した候補者への気候アンケートの結果もチェック！



気になる候補者を見つけたら、ホームページだけでなく、Facebook や Twitter、インスタグラムなどもフォローしては？
わからないことや不明な点があれば、直接本人に尋ねてみるのもアリです。

シマ田ウマ子...
何かいい感じ



2

候補者と話す

選挙前：「大事な一票」であるあなたの話候補者が一番耳を傾けてくれるときです。候補者は、気候危機について知識のある人ばかりではありません。

気候危機の情報や、あなたがいつも思っている「こうなったらいいな」を伝えて「気候危機をわかっている政治家」を増やしましょう。

- ➡ 駅や街頭で演説している候補者を見かけたら、情報提供や質問をするチャンス！ 温暖化への取り組み方をきいてみる
- ➡ メールや手紙を通して、候補者の気候危機への策を尋ねたり、こちらから情報を提供する（候補者事務所の連絡先は、ウェブサイトに掲載されていることが多いです）



3

選挙について 話題にする

選挙のこと。友だちと話しづらければ、家族や親せきと話題にすることから始めてみては。SNSでつぶやけば、同じ気持ちの仲間が見つかるかも。

- ➡ 家族や友だちとの会話で・・・「どんな候補者がいいと思う？」
「なにをポイントで選ぶといいかな？」「わたしは〇〇がおすすめ」
- ➡ 仲間がいれば、選挙について話す会を開く



同じ選挙区民で会を開いて候補者アンケート結果を共有しませんか？ 会を開いてみたいけどどうしたらいいかわからない... という方は「**ゼロエミッションを実現する会**」にご相談ください。



「お、素晴らしい！」という候補者がいれば、「この人なかなかおすすめだよ～」と推してみましよう。特定の候補者のおすすめに抵抗がある場合は、その候補者のFBやツイートの投稿をやんわりシェア。選挙区外に住んでいてもできますね。

4

選挙ボランティアをする

参政権は、投票と立候補だけではなく、応援する候補者を当選させるために選挙ボランティアをする権利も。その選挙区の有権者でなくても可能です。応援したいと思う候補者がいるなら、候補者のウェブサイトのフォームや、事務所への電話での連絡を通して、協力を申し出ることができます。

おこなえることに、法律での決まりがあるので注意！

できること

- ウェブサイト等（ホームページ、ブログ、ツイッターやフェイスブック等のSNS、動画共有サービス、動画中継サイト等）で特定の候補者への投票を依頼する
- 候補者事務所に連絡してボランティア活動をする

できないこと

- 電子メールで特定の候補者への投票を依頼する（ただし候補者本人はOK）
- 投票日当日に、特定の候補者への投票を依頼する



18歳未満は特定の候補者への投票依頼はできませんが、呼びかけ（「投票に行こう！」等）をすることはできます

あー、選挙ボランティアに応募したいんですが



4

選挙ボランティア をする

つづき

選挙ボランティアは、こんなことをします。

これならわたしにもできそう... ということから始めたり、同じ候補者推しの友だちといっしょにやるのもいいですね。

応援団はみんなボランティア。

そこに集まるのは同じ気持ちの市民です。

➡ ポスター貼り

候補者は、公示・告示日に選挙管理委員会で手続きをする。その後、あらかじめ決められた掲示板にポスター貼りをする。選挙区内にいくつも掲示板があるので、ポスターを貼る人手が要る。

➡ 証紙貼り

ポスターやチラシ、投票依頼はがきに「証紙」を貼る。選挙期間中、貼付できるポスターや配布できるチラシ、送れるはがきは、証紙が貼られたものだけ。証紙は切手のような小さなシールで、数千～万という枚数を貼るため、多くの手が必要となる。

➡ チラシ配り

候補者が選挙演説をしているとき聞いている人などへ証紙を貼ったチラシを配る。

➡ はがきの送付

証紙を貼ったはがきに宛名を書いたり、郵送の準備をする。

➡ 電話かけ

投票のお願いの電話をかける。選挙期間中、選挙事務所では電話を何台も置いて電話による投票依頼をおこなうが、電話は事務所からでなくても（選挙期間中は）自由にすることができる。ただし、公示日前・投票日当日は電話による投票依頼もできない。

5

投票に行く +呼びかける

たとえ理想どおりの候補者がいなかったとしても、ベストではなくベターを選ぶこと。棄権したり白票を投じるのではなく、有権者として考えた一票を投じることが、よりよい変化を生み出すことにつながっていきます。自分が投票するのはもちろん、周りに投票を呼びかけて、変化の連鎖を広げましょう。

➡ 投票を呼びかける

「#VoteForClimate」「#地球のための一票」など、ハッシュタグをつけてSNSで発信したり、プラカードをつくってグループなどでスタンディングをしたメッセージ写真を広めたり・・・

➡ 投票を報告する

投票したら、「#投票したよ」「#投票しました」などSNSに投稿すれば、あなたのフォロワーさんに「選挙だっけ」と思い出してもらえるきっかけに

「投票日当日にできないこと」については「4・選挙ボランティアをする」のページを読んで確認しましょう。



さいごに

選挙が終わったら、それがまた新たなアクションのはじまり。

ひきつづき、当選した議員にあなたの思いや情報を伝えていきましょう。
わたしたち市民と、市民の代表である議員が、いっしょによりよい社会をつかっていくために。

すでにそれをはじめている仲間もいます。

ひとりでできることには限界があるけれど、仲間といっしょにできることは無限大。

 **ゼロエミッションを実現する会** と活動しませんか？

「ゼロエミッションを実現する会」は、自分の暮らす自治体の脱炭素・気候変動対策強化をめざす人々のプラットフォームです

(事務局：国際環境NGOグリーンピース・ジャパン)



<https://zeroemi.org/>



発行：国際環境NGO
グリーンピース・ジャパン

GREENPEACE

www.greenpeace.org/japan/

グリーンピースは、環境保護と平和を願う市民の立場で活動する国際環境NGOです。

グリーンピースは、政治的中立を原則としており、特定の候補者を推薦する行為はしていません。